



## ゴールを見据えて！

下の文は、あるスーパースターが小学校6年生の時に書いた卒業文集です。皆さんは、どんなことを感じますか？

### 夢

ぼくの夢は、一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校でも全国大会へ出て、活躍しなければなりません。活躍できるようになるには、練習が必要です。ぼくは、その練習にはじしんがあります。ぼくは3才の時から練習を始めています。3才～7才までは、半年位やっていましたが、3年生の時から今までは、365日中、360日は、はげしい練習をしています。だから一週間中、友達と遊べる時間は、5時間～6時間の間です。そんなに練習をやっているんだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。そして、中学、高校で活躍して高校を卒業してからプロに入団するつもりです。そして、その球団は、中日ドラゴンズか、西武ライオンズが夢です。ドラフト入団でけいやく金は、1億円以上が目標です。

ぼくがじしんのあるのは、投手と打げきです。去年の夏ぼくたちは、全国大会へ行きました。そしてほとんどの投手を見てきましたが、自分が大会ナンバー1投手とかくしんできるほどです。打げきでは県大会、4試合のうちに、ホームランを3本打ちました。そして、全体を通して打ちつは5割8分3りんでした。このように、自分でもなっとくのいくせいせきでした。そして、ぼくたちは1年間まけ知らずで野球ができました。だから、このちょうしで、これからもがんばります。

そして、ぼくが一流の選手になって試合にでれるようになったら、お世話になった人に招待券をくばって、おうえんしてもらおうのも1つです。とにかく一番大きな夢は、プロ野球選手になることです。



この文章はイチローさんの卒業文集です。野球というと、今は、大谷翔平選手が有名ですよ。知らない人もいるかもしれませんが、当時、イチローさんも大谷選手と同じぐらい有名な野球の選手でした。イチローさんは日本のプロ野球で活躍したあと、アメリカでも活躍しました。最近、ユニケルのCMで目にする人もいます。

この文章を読んで、多くの方は、小さい頃から目標が定まっておりますがだなぁと感じるのではないのでしょうか。それもすごいことなのですが、私が着目したところは、遊び盛りに友達と遊ぶのを我慢したということなのです。一週間に5～6時間しか友達と遊んでいないというのです。自分の将来のために今にとらわれることなく、我慢し、目標を達成しようと努力したのです。

このことは、今の皆さんにも共通することではないのでしょうか。成績を上げようと、努力を続けている人。部活動で選手になるために必死になっている人。いろいろなことを我慢している君。今はとても辛いかもしれませんが、その我慢はいずれ朗報として君に返ってきます。イチローさんもがんばりました。君もがんばってください。きっと、君ががんばるそんな姿を見て勇気づけられる人も多くいるでしょう。あと一息です…

### 三者相談お世話になります

10月31日から三者相談が始まります。イチローさんものべているように、将来を見据えて進路を考えていくことはとても大切なことです。特に3年生は、将来の夢を叶えるために、どの高校を選択するのか、よく考えて三者相談に臨みましょう。

また、ご家庭でよく話し合い、目標を同じに

しておくことも大切です。当日になって、「そんなこと今、初めて聞いた」等、当日になって親子の意見が食い違うことのないようにお願いします。

進路は学校や先生方が決めるものではありません。本人とご家庭がよく話し合い、決定していくものです。

私たちは、夢を実現するために、いくつかの方策を提案していきたいと思えます。

当日、お世話になります。